

小中一貫教育目標	「自ら学び 考え 自立した行動ができる『きさ』の子ども」の育成	経営理念	○ミッション ・子供の命を守る（生存権の保障） ・子供に生きる力をつける（学習権の保障） ・子供も教職員も幸せになる（Well Being） ○ビジョン～愛で笑顔あふれる学校～ ・知・徳・体の「基礎・基本」を身に付け、社会でたくましく生きる力を育てる学校 ・地域を愛し、誇りに思い、地域と協働し、より良い社会を築く志を育てる学校	A 適切である B 概ね適切である C あまり適切でない D 全く適切でない (N 判定できない)
学校教育目標	自ら学び 考え 自立した行動ができる『きさ』の子どもを育成する学校			

評価計画						自己評価						学校関係者評価			
項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方法	評価指標	目標値	達成値		達成度	評価	分析（成果と課題）	改善方策	評価	記述	
							中間	最終							
確かな学力		確かな学力の定着と主体的・対話的で深い学びの実現	基礎的・基本的な知識・技能の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明的な文章を軸に、目的に応じた情報の取捨選択(判断)と根拠の明確化を学習の核として単元を構想し、学んだ筋道を立てて考える力を活用する学習を行うことで、目的に応じて情報を取捨選択しながら、判断と根拠をもった表現をすることができるようにする。</li> <li>・ドリルタイムを活用し、読むこと、書くことに係る基礎的な技能の習得や復習を図る。</li> <li>・児童一人一人の実態に応じた家庭学習の課題を工夫し、自主学習の取組を学年に応じて行う。</li> <li>・ICTを活用し、個別最適な学びを保障する。</li> <li>・読書活動を計画的に推進し、豊かな読書環境を作る。(三次市読書活動推進事業に係る重点実践プロジェクト校の指定活用)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語科の「説明的文章」の単元末テストの「読むこと」に係る問題で目標値を超えた児童の割合を85%以上にする。</li> <li>・児童アンケートで「1か月に1冊も本を読まない」児童を0%にする。</li> </ul>	単元									
			「表現力」の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペア、グループ、一斉学習といろいろな形態で考えを伝える場を設定する。</li> <li>・主体的に対話的に学ぶ授業づくりの工夫について、授業研究を通して授業力を向上させる。</li> <li>・授業の中で、考えを書く、学習の振り返りを、視点をもって考える時間を確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童アンケート「授業では、友達と話し合うなどして、自分の考えが深まったと感じる。(理由が思いついた、考えに自信が持てた、説明の仕方が分かったなど)」の項目について肯定的な評価を90%以上にする。</li> </ul>	90%									
			アンケート	0%											
豊かな心		主体的に表現しようとする児童生徒の育成	自己有用感の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアログに書いた目標の振り返りを毎月行い、次の目標に向けた取り組みに生かす。(評価しやすく、自分の成長を実感しやすい目標を設定させる)</li> <li>・自己有用感をもつことができる取組を児童会・委員会と協力して行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童アンケートで、「夢や目標を持っている」「目標に向かって努力を続けた」と評価する児童を90%以上にする</li> </ul>	90%									
			規範意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ、返事、学びの習慣(時間を守る)を身につけた児童を育成する。</li> <li>・気持ちのよい挨拶ができる児童を育成するために、学校に1回は生活目標にかがけ、意識を向上させる。振り返りでは、学校や地域のどんな場面で挨拶ができたか具体的な振り返りをさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童アンケートで肯定的な評価をする児童を90%以上にする。</li> </ul>	90%									
健康かな体		健康の保持増進と体力の向上	生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアコントロールの取組を行い、メディアの利用時間の目標を個人で設定し、自己評価する。</li> <li>・食に関する指導を行い、「食することは楽しい」という意識から健康とのかかわりについて自分事として考えることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアの利用時間について、個人で設定した目標を達成できた児童を80%以上にする。</li> <li>・食品の名前や栄養素の働きを理解し、食べ物を好き嫌いせずに食べることができる児童を80%以上にする。</li> </ul>	メディア	80%								
				食	80%										
信頼される学校		地域・保護者から信頼され期待される学校づくり	地域とともにある学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CSの取組を進め、保育所、小学校、中学校、高等学校、地域の各種団体との連携を図り、再配置による教育的効果を高める。</li> <li>・地域に愛着をもち、地域で活躍する人材を育成するキャリア教育推進事業を推進する。</li> <li>・学校だよりやHP等を活用した情報発信を積極的に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保、小、中、高や地域との交流活動を通して、地域や社会をよくするために何かしたいと思う児童を90%以上にする。</li> <li>・保護者アンケートで情報発信に係る肯定的な評価を90%以上にする。</li> </ul>	交流	80%								
			働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTや校務支援システムを活用した働き方改革を進め、学校課題に組織的に取り組む。半期ごとにアンケート等で実態を把握し、学校衛生委員会や企画委員会を中心に取組を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童に向き合う時間があると実感する教職員の割合を80%以上にする。</li> </ul>	80%									
			情報	90%											

【自己評価】 4：達成度100以上（目標達成）, B：80≦達成度<100（ほぼ達成）, C：60≦達成度<80（もう少し）, D：達成度60以下（できていない）